

## 中途社員の成長記録!

今回は「苦勞したこと」をテーマに、入社間もないこちらの3名からお話を伺いました! どのようなことを大変だと感じ、乗り越えようとしているのでしょうか? 先輩の皆さん、これからも惜しみないサポートをよろしくお願いいたします!



工事部  
こはら しげき  
**小原 茂樹さん**  
2023年2月入社(中途)

### ミスを恐れすぎて萎縮してしまい、 クレーン操作者に迷惑をかけることも……

以前は金属加工の業者で旋盤を扱ったり、自動車関連の工場で働いたりしていました。現在は先輩からの紹介で入社し、2か月ほど前から現場に出て杭打ちを行っています。まだ技術を磨いていく必要があることとしては、特にクレーンへの指示出しです。操作資格は最初の会社で必要だったこともあり、高校卒業前に取得していました。そのときは室内型の1人で扱うタイプでしたが、それ以降はしばらくクレーンと向き合う機会もなく……。そして今はオペレーターの方がいるので操作誘導をしていますが、**思い切って合図を出せないところが課題**でした。理由としては、30~40トンもの重いものを扱うため、少しのミスが重大事故に繋がりがかねないことで躊躇する気持ちが生まれるからです。その**動揺から、誤った方向に指示出ししてしまうこと**もありました。

### 60代の先輩方の気さくな声かけて、 気持ちが前を向けるように!

当社には年齢の離れた方も多くいますが、**年の差が気にならないほど楽しく会話もでき、場を和ませてくださっています**。ミスをして落ち込んでいたときも、食べものの好き嫌いの多い私になぞらえて、「何でも苦手を作らないこと!」という声かけを。「**苦手意識を持って前に出なければ、できないまま。自分からいかないと駄目だよ**」という**激励が今も支え**になっています。そのときにあらためて、自信を持って仕事をしていたことに気付かされ、それ以降は自ら行動するようになりました。また間違っていたり、注意を受けたりしたときは、**少し怖い先輩でも素直に駄目な部分を聞くように**しています。まだ経験も浅いので、まずは目の前の仕事を覚え、段取りをいち早く掴みながら、戦力になれるよう頑張ります。

### 上司の阿武さんから一言!

この仕事は朝の3時や4時に集合、ということも多くありますから、やっぱり若手の子は慣れない人が多いもの。それでも**小原さんは遅刻しない**、というところを買っています!  
**先日3時集合のところ、2時50分にはついていました**。なかなか誰でもできることではありません!  
今後は、まずは、**決められたルールを守って怪我無く頑張っ**てほしい。若手の人とはどんなことをすると危険なのかかわかっておらず、ちょっとしたルールを守れず怪我しがちです。長年やっても怪我はしてしまう仕事ですから、まずは言われたことを守ってほしいですね。我々もそこはきちんと指導していくつもりです!

### 関わり方の違いに戸惑いながら、 会議やパトロールへ初参加

以前は、土木工事で使用するアルミ製の仮設のリース会社で25年以上営業していました。今の業務は、**営業とともに施工も請け負うところが、前職との大きな違い**。例えば安全衛生協議会や、合同パトロールへの出席は初めての経験でした。以前は「貸して終わり」だった関わり方から、「**皆と一緒に考える**」というより**深い関わりに変化したことで、苦勞**することがありました。最初はパトロールでのチェック項目やルールが分からず、危険かどうかの判断ができないことも。慣れてしまえば簡単に分かるようになりましたが、最初は戸惑ったことを覚えています。

### 上司の岩井さんから一言!

北村さんは明るい性格ですから、**すぐに会社の中にとけこんだ印象**です。作業員の人も、**誰でも分け隔てなく話ができる**ところは、仕事でも武器になると思いますね。前職との仕事内容の違いに苦戦するかとは思いますが、持ち前の明るさで乗り切れると思っています!  
今後も、覚えることがたくさんあるでしょう。一つひとつ覚えていって、大阪での営業も頑張ってください!



営業部  
きたむら ともや  
**北村 倫哉さん**  
2022年9月入社(中途)

### 施工の面白さを知ること、 自ら学び、復習を続けて知識を定着!

パトロールでのルールや項目は、**とにかく数をこなして勉強、復習を繰り返す**ことで身につけることができました。**定期的**に会議に参加することにより、**安全に対する意識を高める**機会になっています。また、会議への参加以外にも「**場所打ち杭**」などの工法を**You Tubeで学び、現場で見ること**で理解を深めています。施工をイチから覚えることが面白く、やりがいを感じる毎日です。



工事部  
こでら りょうすけ  
**小寺 亮輔さん**  
2021年6月入社(中途)

### 家庭でも職場でも「コミュニケーションの大切さ」 について考えさせられた2年間

前職は製鉄業界に2年ほどおり、製鉄設備の保全業務に携わっていました。現在は橋脚の場所打ち杭工事を行っています。当社では中国地方内の各県で仕事があり、年間を通じて家を離れている期間が長いので、妻との時間が減ってしまいました。**自宅には妻が1人になってしまう**ため、少し寂しい思いをさせてしまっています。また**年齢の近い人が少なく、入社半年目で同じ班になった方々のなかで私の次に若い先輩でも60歳過ぎ……**。この年代ギャップに、**最初は戸惑い**と、果たして一緒にうまく仕事をしていけるのかという不安も正直ありました。

### 家族にも先輩にも、積極的に「ほう・れん・そう」を!

妻と良好な関係を保つ方法については、まだ試行錯誤しているところもありますが、**夕食後の宿泊先からの電話は日課**にしています。連絡を欠かさず取ることで、距離を縮める努力はしているつもり……です(笑)それでも心細く感じるときもあるようなので、今後も家にいるときは可能な限り妻孝行に励みたいと思います。そして年上の先輩には、**極力丁寧な言葉遣いも心がけつつ、タイミングを見計らって分からないことなどを聞くように**しています。**喫煙される方であれば休憩中に付いていき、他にもご飯中や移動中といった話がしやすいときを見逃さない**など。こちらから声かけすることで、少しずつ距離を縮めることができました。**接する機会も増え、見て学びながら現場で色々なことを吸収**させてもらっています。

### 上司の梅原さんから一言!

何に対しても**人一倍興味がある子**だなと思っています。私の仕事を見て、できそうなことはやってみようという姿勢がよく見られますね。気になったことをすぐに質問してくるのも、いいところ。何事も、まずは興味を持つことから始まりますから。ただ、まだまだ殻に閉じこもっているところもあるのでは?という印象。仕事だけではなく、若いうちはいろいろなことが社会勉強になるでしょうから、もっと**自分のポテンシャルを活かして**ほしいです!



教えて

# 施工管理技士さん！ 河野組の魅力

皆さんは、河野組のどんなところに魅力を感じていますか？  
今回は、施工管理技士の資格を持つ浜口さんと梅原さんにインタビュー！  
職場環境や支援体制など、さまざまな面から当社の魅力を教えてもらいました。

共通点は「人間関係の良さ」。

ベテランも新人も、一つのチームとして働くことが、仕事の楽しさにつながっているようです。



班長  
うめはら ゆうさく  
梅原 祐作さん

## 実績を積み「自分ブランド」 作ることができる環境

### 資格を取得して自信ができました！

施工管理技士の資格があれば、胸を張って仕事に取り組めます。私は、6年ほどかけて資格を取得しました。一定の勤続年数や現場で実績を積むことが求められ、大変ではありましたが、周りからの見られ方も変わったと感じています。協力会社と仕事をする際に名前を覚えてもらったり、また作ったものに自分の名前を掲載してもらったりしました。今は、各工事現場の代表として実績を作りつつ、自信を持って自分の名前を出すことができている。

## 河野組はストレスフリーな人間関係が魅力

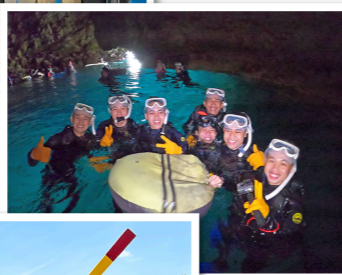
### 上下関係がなく居心地の良い職場

一般的な建設会社のイメージとは裏腹に、人間関係が柔らかいところです。河野組は年齢の上下に関わらず「チーム」という感覚が強いと感じます。1チームは4～5人、20代前半～70代のメンバーで構成されています。ベテラン社員からは人生の大先輩として、助言を受けながら仕事をしています。年上の人の言葉に必ず従わなければならないような風潮もありません。むしろ「年上の人の言葉は聞いておこう」という雰囲気です。最近、約20年ぶりに社員旅行が実施され、新人もベテランもみんなで沖縄に行ってきました！人間関係のストレスなく仕事に取り組める環境は、若い世代には働きやすいのではないのでしょうか。

## 人生を豊かにしてくれる会社のサポート

### いつの間にかお金が溜まる!? 充実の出張支援制度

出張の際は交通費、食費、滞在費が会社から支給されるため、だいぶ助かっています。仕事に励みスキルに磨きかけながらも気づいたらお金が溜まっているという状況です(笑)実際私も、お酒をたしなむなど、趣味を楽しむ余裕ができました。プライベートも仕事も充実させることができるのが、河野組ならではの魅力の1つだと感じています。



取締役  
はまぐち せいいち  
浜口 清一さん

## 資格を活かし、 自分の裁量で仕事の工夫ができる楽しさ

### 難しい現場ほどやりがいを感じます！

今年、入社して33年目を迎えます。施工管理技師の資格は、現場監督を務めるにあたり必要となったので取得しました。私は困難な現場ほど、モチベーションが上がる性格(笑)特に狭い現場は工夫のしがいがあるのが燃えます。荷物の搬入方法、クレーンの入り方、物の配置や段取りなど、難しい状況であればあるほど、それをどうやって解決するのか考える楽しさがありました。クレーンやバックホーの運転手の意見も聞きながら、最終決定は自分が出します。もちろん責任は重いですが、決めていく楽しさとやりがいがあります。

## 河野組は年齢の上下を問わない 幅広い人間関係が魅力

### 若い人と触れ合う面白さ、 ベテランから教えてもらうありがたさ

職場では、年齢の上下をあまり意識することがありません。むしろ、私にとっては若い人たちと触れ合う機会が

多くあり、それが仕事の面白さにつながっています。コロナ以前は若い人たちも一緒によく飲みに行っていて、お互いの家庭の話や他愛もない面白話を花を咲かせていました。出張先に行き、その地元の若い人たちと知り合うのも楽しかったです。コロナもある程度収束したので、また飲みが増えてくれればいいなと思っています。思えば、私の若い頃も、年上の人と一緒に楽しく仕事をしていました。もちろん、当時の職人ならではの厳しさはあります。しかし、先輩に話を聞き、自分なりに解釈して落とし込むことの積み重ねが、スキルアップにつながっていったと考えています。実は、父は入社52年目で私の大先輩。ここ10年ほど共に仕事をしていて、困った時の良きアドバイザーです。自分の意見を押し付けてくることはありません。亀の甲より年の功で、いろんなアイデアやもの見方を教えてくれるのでとてもありがたく感じています。

## 新しい現場と出会う喜び

### 初めての現場は冒険の始まり。仕事を思い切り楽しもう！

この仕事は、同じ現場で同じ仕事をするとはまずありません。現場毎に頭を使い、段取りや工法を考える喜びがあります。同じ杭を一本打つのにしても、地盤の硬さも現場の広さも全く異なります。しかし、理に従っていけば難しいことないと思っています。これまでの経験と、先輩やいろんな人の意見を聞きつつ、自分なりに考えていく工程を楽しんでいます。2017～2019年までの2年間、社長からお願いされて、新幹線の工事のため石川県の小松市に、父と一緒に出張していました。総勢10名ほどの2チーム編成、50mクラスの長い杭を150本ほど打ち込む大規模工事です。私の仕事の信条は楽しむこと。全部やり遂げたときは、達成感もありましたが、「もう少しここで作業をしたいな」と思ったほどです(笑)若い頃から今まで、いつも楽しんで仕事をしています。

有資格者だからこそその視点だけでなく、河野組そのものの魅力も垣間見えましたね。  
一層、河野組のよいところを知ることができたのではないのでしょうか？

# 俺の出張飯!!

## 4月に行った隠岐島で食べたものどれも絶品!

ふじさわ もとき  
藤澤 基樹さん

### 白バイ貝とお造り

隠岐島に行くといつもお世話になる作田屋さんで食べました。この宿での飯はいつも絶品ですが、これは格別! 海の幸はやはりいいですね。



### 顔より大きい天丼

隠岐島でお世話になっている元請けさんからごちそうになりました。顔が隠れるほどのサイズで驚き! 若い社員は食べきれずお持ち帰りするほど(笑)私は完食しました!



### 隠岐牛の焼肉

班のみんなで焼肉をいただきました。お値段は張りりましたが、「いい仕事をしたご褒美」です。

